北海道発オンラインフォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

11月7日（日） 日直 オンライン

今回のテーマ

最新エビデンスからひもとくがん治療と暮らし

科学的データ“エビデンス”をもとに成果をあげるがん医療。
研究者や医療者の思いとともに、そこには多くの患者の治療経験が蓄積されています。
今回のフォーラムでは、その“エビデンスとは何か”からはじまり、今後進むであろう“個別化治療への道筋”を探ります。
是非ご参加ください。

2021年11月7日(日)

開演：午後1時30分　終演予定：午後4時10分 ※途中休憩あり

定員：700名　参加費：無料 ＊要事前申し込み

(インターネットデータ通信料のみご負担ください)

参加申し込み用
二次元コード
※詳細は裏面を
ご覧ください。

◆ゲスト
原 千晶
タレント・よつばの会 代表

◆パネリスト
小松 嘉人
北海道大学病院 腫瘍センター
化学療法部・CancerBoard部 診療教授・部長

◆パネリスト
河野 透
札幌東徳洲会病院 先端外科センター長
北海道大学 医学部 客員教授

◆パネリスト
大島 寿美子
北星学園大学 文学部
心理・応用コミュニケーション学科 教授

◆コーディネーター
町永 俊雄
福祉ジャーナリスト

プログラム

【第1部】
・科学的証拠“エビデンス”とは何か
・進化するがん治療の最新エビデンス

【第2部】
・“ナラティブ(物語)”というもう一つの医療
・患者が“語る”ことで変わっていく未来

題字 / 延 哲也　写真 / 中川 えり子　デザイン / ハナデザイン

■ 主催　社会福祉法人NHK厚生文化事業団　株式会社NHKエンタープライズ　読売新聞社　■ 後援　NHK札幌放送局　厚生労働省　北海道　札幌市
■ 協賛　ツムラ

北海道発オンラインフォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

2021年 11月7日(日)

開演：午後1時30分 終演予定：午後4時10分 ※途中休憩あり

ゲスト

原 千晶（はら ちあき）

タレント・よつばの会 代表

1974年北海道帯広市生まれ。1994年、20歳の時に「クラリオンガール」グランプリに選出され芸能界デビュー。以降、雑誌・TV等を中心にタレントとして活動。2005年、30歳の時に子宮頸がんの宣告を受ける。2009年の年末に再度子宮にがんが見つかる。2010年に発覚した子宮体がんの治療のため、手術と抗がん剤治療を受ける。2011年7月、自身のがん経験から婦人科がん患者会「よつばの会」を設立。以降、がん経験者として各地でがん啓発の講演会やイベントに積極的に参加している。

パネリスト

小松 嘉人（こまつ よしと）

北海道大学病院 腫瘍センター
化学療法部・CancerBoard部 診療教授・部長

1989年に東京医科大学卒業後、北海道大学医学部第三内科に入局し消化器内科診療に従事。その後、がん診療に興味を持ち、1993年から国立がんセンター中央病院薬物療法部に国内留学し、がんの薬物療法について学んだ。北海道に戻り2001年から北大第三内科助手として科内に化学療法グループを立ち上げ、2004年には腫瘍内科助手、2006年から地域医療連携センター講師、2008年から腫瘍センター立ち上げに従事し腫瘍センター准教授、2011年からは現職である腫瘍センター診療教授として大学病院のがん診療の発展に寄与してきた。最先端のがん薬物療法の開発のみならず地域医療連携にも興味をもち、診断から最新治療～緩和ケアまで、がん患者のトータルケアを目指して診療・研究に関わっている。

パネリスト

河野 透（こうの とおる）

札幌東徳洲会病院 先端外科センター長
北海道大学 医学部 客員教授

1982年に旭川医科大学医学部卒業後、同大学医学部第二外科で臨床・研究を重ねる。同講座助教授を経て、2012年より札幌東徳洲会病院先端外科センター長に就任。抗がん剤による副作用軽減を目的に漢方薬の薬理機序の解明をオックスフォード大学などと共同研究してきた。臨床では現在も主に大腸癌やクローン病など消化器疾患の手術を行う。2003年にはクローン病に対する新たな術式（Kono-S）を考案し国際的に高い評価を得ている。

パネリスト

大島 寿美子（おおしま すみこ）

北星学園大学 文学部 心理・応用コミュニケーション学科 教授

千葉大学大学院理学研究科生物学専攻修士課程修了、北海道大学大学院医学研究科博士課程修了。記者として通信社、新聞社に勤務し、がんの取材をしたのをきっかけに、がんと社会に関する研究と実践をする一方、異なる立場や人々の「関係性」についてコミュニケーション研究を行う。NPO法人キャンサーサポート北海道理事長。がんに関する一般書に『がんサロン ピア・サポート実践ガイド』（共著、みんなのことば舎）、『北海道でがんとともに生きる』（編著、寿郎社）など。

コーディネーター

町永 俊雄（まちなが としお）

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在はフリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

■ 参加申し込みについて

インターネットに接続された環境下にあるパソコン、スマートフォン、タブレットで全国どこからでもご視聴いただくことができます。参加ご希望の方は下記ホームページの申し込みフォームにて必要事項を記入して申し込みください。右にある二次元コードからも申し込みいただけます。

https://www.npwo.or.jp/info/19487

参加申し込み用
二次元コード

※参加申し込みいただいた方には「申し込み完了メール」（自動返信）をお送りいたします。
※10月29日に「ライブ配信ご視聴の手引き」などの本フォーラムに関する資料を郵送します。
※申し込みが10月29日以降の場合、事前資料はお送りしません。「ライブ配信ご視聴の手引き」「よくあるご質問」「プログラム」を10月29日にホームページに掲載しますので、そちらをご確認ください。
※「ライブ配信するサイトのURL」「ユーザー名」「パスワード」など視聴に必要な情報を11月1日以降メールにてお伝えします。
※受信拒否設定などの影響によりメールが届かない場合があります。［npwo.or.jp］からのメールを受信できるよう、あらかじめ設定の確認をお願いいたします。
また、フリーメールアドレスで申し込まれた場合は、こちらからお送りするメールを受信できないことがあります。
※11月3日を過ぎても視聴に必要な情報を記載したメールが届かない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
※個人情報は適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。
※新型コロナウイルス感染症の影響などにより変更が生じた場合は、ホームページにてお知らせします。

■ 視聴上の注意

※Wi-Fi(無線)接続の場合、状況により映像や音声が途切れる場合があります。長時間の視聴になるため、3G/4G/5G/LTE回線でのご視聴は、データ通信量が決められた上限に達してしまう場合がございますのでご注意ください。
※参加者ごとに個別の「ユーザー名」「パスワード」をお送りしますので、お一人ずつ事前申し込みが必要です。

■ 問い合わせ

NHK厚生文化事業団「がんフォーラム」係
電話 03-5728-6633 (平日 午前10時~午後5時)

写真提供
中川 えり子さん

私が中学生の時に母が乳がんになりました。患者家族の立場になって、母と一緒にホッとしたり、心が静かになれる時間の大切さを実感しました。私が撮影した写真を通じて、皆さまの心が少しでも和らぎますように願っています。